

## 第56回全国子ども会育成中央会議・研究大会に参加して

記念講演 中塚尚子氏

「子どもの心をのぞいてみれば-地域医療から見る問題点と対策」

親でもない、学校の先生でもない、そんな大人の存在が子供の成長過程で重要な役割を担っていることを再認識させていただく講演でした。

親にも相談できず、また先生や友達にも打ち明けられない悩みを聞いてくれる近所のおじさんが居てくれることで子どもがどれだけ安心して日々を送ることができるか、今回参加された全国の子ども会関係者がそういう存在になることができれば、こども会だけでなく地域の活性化につながるようになるのではないのでしょうか？

第2分科会・・・地域とつながるこども会活動

地元北海道2名、埼玉県、長野県、兵庫県それぞれ1名そして私の6名で意見交換をしました。

子どもの成長過程において異年齢の集団で遊び活動する事の重要性について、そして地域に根ざした子ども会活動における行政のかかわり方について討議しました。

昭和30年代各地域に間違いなく「ガキ大将」が存在しました。その存在は小さなこども達からは憧れであり地域のおとなからは、信頼できるまとめ役（リーダー）でした。そして代々受け継がれ上の子は下のこの面倒を見、下の子は上のお兄ちゃんたちに遊びの方法を教えてもらいながら成長しました。

この重要な経験を現代の子どもたちにも経験させてあげたい。

環境によって子どもが生き生きと成長し、その環境を作るのが育成者はじめ行政・おとなの役割ではないのでしょうか？

石橋寿恵夫さん（千早赤阪村）